
上智大学 公務員試験対策講座ガイドンス

公務員試験を受験するなら学内講座

上智大学 公務員試験対策講座ガイドンス

今回のガイドンスは以下の点をお話しします。

- (1)公務員試験の勉強法
- (2)公務員試験の攻略法
- (3)学内講座のメリット

(1) 公務員試験の学習法

公務員試験のピークは毎年5～6月に実施されます。今から始めると約1年の学習期間になります。多くの人はこの時期から学習する人が多いです。理由は公務員試験は教養試験及び専門試験で出題される科目が多く、学習が完了するまでに時間がかかるからです。しかし、大学の授業やサークル活動、アルバイトと皆さんの日々を取り巻く環境はとても忙しいのも事実です。では、どのように学習をしていくべきか以下を念頭に学習することが肝要です。

- ・ 重要科目(基本科目)を優先して学習する
- ・ 計画的に授業の視聴と復習をする。
- ・ スキマ時間を有効に利用する。

①重要科目を優先して学習する

公務員試験と一概に言っても、実施する試験の詳細は様々です。以下に主な試験での実施される試験と出題科目一覧を載せておきます。一覧を参照すると各試験についても出題科目が異なります。特に専門試験(択一式)と専門試験(記述式)の違い、専門試験(択一式)の出題科目は試験によってかなりばらつきがあります。また、多くの受験生が公務員試験を受験する場合、いくつかの試験を併願します。しかし、現時点で受験する公務員試験を決めていない方も多いはずです。

そこで、効率のよい学習として、どの公務員試験でも出題される科目を学習することが重要です。公務員試験の学習方法の最大のPOINTは科目の優先順位と復習です。優先的に学習する科目をTACでは「基本科目」と言っています。

【教養科目】 数的処理、文章理解

【専門科目】 憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、政治学

以上の科目を学習するだけで、教養試験は半数の問題、専門試験については8～9割の問題を網羅します。試験によっては専門試験の解答問題数を100%満たす試験もあります。

試験種	一般知能分野							一般知識分野																	合計 出題数 (問)	合計 解答数 (問)	解答時間 (分)
	数の処理				文章理解			人文科学					自然科学					社会科学				時 事	国語・英語				
	数の 推理	判 断 推 理	空 間 把 握	資 料 解 釈	現 代 文	英 文	古 文	世 界 史	日 本 史	地 理	思 想	文 芸・ 文化	数 学	物 理	化 学	生 物 学	地 学	法 律	政 治	経 済	社 会						
国家一般職	4	7	2	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	—	40	40	140	
国税・財務・労基	5	6	2	3	6	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	—	1	1	1	—	3	—	40	40	140	
裁判所一般職	6	7	3	1	5	5	—	1	1	1	1	—	—	1	1	1	1	1	2	2	—	—	—	40	40	180	
特別区Ⅰ類	6	5	4	4	5	4	—	1	1	1	1	—	—	2	2	2	2	2	2	—	—	4	—	48	40	120	
東京都Ⅰ類B*	6	2	4	4	4	4	—	1	1	1	—	1	—	1	1	1	1	1	1	1	—	5	—	40	40	130	
地方上級全国型	5	6	5	1	3	5	—	2	2	2	—	—	1	1	2	2	1	4	1	2	5		—	50	50	150	
地方上級関東型	5	3	3	1	3	5	—	3	3	3	—	—	1	1	2	2	1	4	1	3	6		—	50	40	120	
地方上級中部・北陸型	5	6	5	1	3	5	—	2	3	3	—	—	1	1	2	2	1	3	1	2	4		—	50	50	150	
横浜市*	17				3	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3	1	13		—	50	50	150	
国立大学法人等	4	4	4	1	3	4	—	2	2	2	1		1	1	1	2	1	2	1	2	2		—	40	40	120	
警視庁警察官Ⅰ類	6	5	4	2	6	2	—	2	2	2	2		—	1	1	1	1	4		2	3		4	50	50	120	
東京消防庁消防官Ⅰ類	4	4	2	5	5	3	—	1	1	1	—	—	4	2	2	2	—	3		1	3		2	45	45	120	

* 東京都 I 類 B は、行政 一般方式の
情報です。

* 横浜市は、教養試験のみと受験案内
内にありますが、例年、専門科目
(憲法・民法・行政法・経済学・財
政学・経済事情・行政学・国際関
係など)が、社会科学として出題さ
れています。

学習の進め方

予習 特に必要ありません。(科目によって担当講師が予習についての指示をする場合があります)

講義視聴 対面講義は教室での日程通りにWEB講義は配信日程を参考に視聴計画を立てましょう。

復習 これが学習には一番重要です(科目担当講師が指示することがあります)

①テキストの該当回を一読

各講義の該当する回の範囲を一読しましょう。数的処理や文章理解、ミクロ経済学やマクロ経済学は要点整理の内容をもとに問題の解法を身に付け、問題を解く際に活かしましょう。暗記系科目については今後何度も読み返すことが大事です。

②例題の解き直し テキストを一読したら例題を解き直して、解法の基本を確認しましょう。

③練習問題を解く テキストに掲載されている過去問を解きましょう。見直しの際には解説で重要な個所をチェック

④問題集を解く

講義で問題を指定されていれば最低限、指定問題は解いてください。また、正答率の高いものは必ず解くようにしましょう。



スキマ時間を有効に利用する

例えば、大学の授業の空き時間や通学の電車の中で、スキマ時間を使って講義視聴や問題演習をすることで効率のよい学習ができます。

(2) 公務員試験の攻略法

公務員試験の学習において、ハードルとなるのは学習する科目数が多いことや情報収集にあります。そこで攻略法は次の点を念頭に置きながら学習することにあります。

① 試験の情報収集

公務員試験は年によって変更されたりすることがあります。変更する場合は事前にHP等で告知されることが多いですが、それを見落としていたら効果的な学習はできません。そこで公務員の試験情報等はこまめにチェックしておきましょう。また、公務員の仕事内容など民間企業の就活で行う「企業研究」と同様に、「行政課題研究」をしておくとい良いでしょう。

POINT 各自治体HPの職員採用情報ページやTwitterのアカウントをこまめにチェック！

採用関連イベントに参加しよう！

②科目学習の順番

科目学習の順番を工夫することで効果的な学習ができます。特に専門科目についてはリンクする科目も多いことから工夫してみましょう。

- ・ 出題数の多い憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、政治学の学習が最優先。
- ・ 科目ごとに学習内容がリンクしており、法律系は憲法→民法→行政法、経済系はミクロ経済学→マクロ経済学、政治系は政治学→その他の科目の順番で学習すると効率的な学習になる
- ・ 重要科目以外は、志望先での出題の有無を確認して、必要な科目だけを選択学習すればOK。
- ・ 併願先を選ぶ際に第一志望で出題される科目で受験できる試験種を選ぶと学習負担が軽くなる。
- ・ 科目の優先順位は出題数に呼応する ＝ 出題数の多い科目を優先的に学習する。

POINT リンクする科目の順番を工夫

重要科目を優先する

考える科目(数的処理・民法・ミクロ経済学・マクロ経済学)はできれば毎日学習する。

(3)公務員試験対策講座(学内講座)のメリット

①対面講義の他、WEB配信授業がデフォルトでついてくる

対面講義については主要科目の一部を実施しています。TACの校舎に行かなくても受講できますので効率がいいです。WEB配信授業配信授業は365日24時間視聴が可能です。

②個別相談や面接指導も実施します。

個別相談を定期的の実施いたします。面接指導も模擬面接などTACの校舎と同様に実施いたします。TACの校舎の場合、校舎の公務員講座の担任講師の個別相談は多くの受講生が希望するため、予約できないことがあります。しかし、上智大学の学内講座の場合は、上智大学学内講座専任の担任講師がいますので、個別相談を予約できないことはありません。夏・秋・直前期と分けて実施いたします。

③情報収集 HRとして全8回にわたり、皆さんの学習のPOINTをお話いたします。↓各HRの予定タイトル

HR1：オリエンテーション HR2：夏休みの学習方法について HR3：併願先について HR4：近年の試験傾向について①
HR5：近年の試験傾向について② HR6：面接対策について HR7：特別区面接カードについて HR8：直前期の学習方法について

よくある質問

①民間企業との併願は可能？

可能です。最近の公務員試験は市役所を中心にSPIやSCOA、GAB等の適性試験を採用試験で実施する自治体も多くなっています。

②学習計画はどうやって立てるの？

ご自身の日々の予定から個人差がありますが、各個別相談にて学習の進捗の目安を個別にアドバイスいたします。また、HRの1回目でオリエンテーションとしてお話しします。

③対面講義に出席できない場合はどうしたらいいの？

対面講義を欠席する場合は該当講義をWEBにて視聴してください。対面とWEB講義をうまく活用してハイブリッドな学習をしましょう。

最後に

公務員試験は科目数が多いことや対策に時間がかかることで敬遠しがちですが、民間の就活と比較すると競争倍率も10倍以下のものが多く、比較的合格しやすいです。また、最近では民間就活と併願が可能な試験を実施する団体も多くなっています。

皆さん自身の将来の仕事として「何を選ぶか」、その選択肢として公務員というのは決して難関ではないことを知っていただきたいと思います。皆さんの合格のためにTAC講師一同、全力でサポートしていきます。

しっかりと計画的に勉強をして、来年の公務員試験の合格を勝ち取ってください。

参考資料 国家総合職・一般職の試験変更点

- ① 2024年度の試験から、総合職試験（院卒者試験）「行政区分」選択Ⅰ「政治・国際系」と総合職試験（大卒程度試験）「政治・国際区分」を改編し、選択Ⅰ「政治・国際・人文系」と「政治・国際・人文区分」を創設します。思想・哲学、歴史学、文学・芸術、人文地理学・文化人類学といった分野が新たに出題され、人文系の専攻者が自らの専門分野を選択して受験できるようになります。
- ② 2024年度試験から、春の大卒程度試験において基礎能力試験の出題数を40題（知能27題、知識13題）から30題（知能24題、知識6題）に削減します。あわせて、知識分野は時事問題を中心とし、普段から社会情勢等に関心を持っていれば対応できるような内容とします。また、高卒程度試験を含む全ての試験の基礎能力試験において、情報に関する問題を知識分野で出題します。
- ③ 2024年度試験から、総合職試験（院卒者試験）「行政区分」並びに総合職試験（大卒程度試験）「政治・国際・人文区分」、「法律区分」及び「経済区分」の専門試験（記述式）について、解答題数を3題（4時間）から2題（3時間）に削減し、試験準備の負担感を軽減します。これに併せ、専門試験（記述式）の解答時間を全区分について3時間で統一します。

変更点 一般職試験（大卒程度試験）、専門職試験（大卒程度試験）

現行 [40題 2時間20分]

知能分野27題 文章理解 11・判断推理 8・数的推理 5・資料解釈 3

知識分野13題 自然・人文・社会（時事を含む） 13

2024(令和6)年以降 [30題 1時間50分]

知能分野24題 文章理解 10・判断推理 7・数的推理 4・資料解釈 3

知識分野6題 自然・人文・社会に関する時事、情報 6